

夢のマラソン

私もマラソンやりたい

と言ったところからかんろあきらの死

室内もテスリがずいとならぬと移動も兼ねる

手して外へついで行けるゆえもある

オリンピックの9月4日で競走の区

揮きの山をひろし

アカデミック管の中山と

作家の「匠」

皆マラソンを走っている 三君の話を聞いて

いさうさ

私もマラソンやりたいとあってい

息を吐き出し 脳が整理される

いりややり

ここ何回か 楽くにとらなれる

はづれもある

下巻の二巻ほどのテスリを往復しよう

そわがスタート

皆あきらめていても 明日からの私を

ほろい 今夜はぐすりおろ

めかさめろ

昨夜もあつたにり 江戸川にさかすか

りで ね不足に

この存妙を説きすぎしに 朝も 昨日の約束

通りまろくの第一家をいかにとらえる

台所へつかまり行き 江戸のよさを

ふく、 次はすりの後継に

かたがたの声ばかり かつていふは

継身像以下に

今日といふ日は年毎もあそ

めがたに午の寅行をつがけろ

すり十回後継に

2024
9/12